

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2021

出展料無料



出展のご案内 ～ 進化セヨ！土木 ～

出展募集期間 7月20日(火)～8月31日(火)

※募集期間を延長しました！

建設現場のニーズと企業等のシーズのマッチングを図ります



Web視聴可能



新技術交流イベント2021

検索

日時 2021年11月2日(火) 10:00～17:00

会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 大ホール・海

主催 静岡県交通基盤部

お問合せ 静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課  
TEL:054-221-2131 E-mail:gijyutsukanri@lg.pref.shizuoka.jp

## 新技術交流イベント in Shizuoka 2021

### 開催概要

名称	新技術交流イベント in Shizuoka 2021
開催目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設現場のニーズと企業等が保有するシーズのマッチングを図り、建設現場の課題解決が可能な新技術の現場導入を推進し、生産性の向上につなげる。</li> <li>業種の枠を超えた産・学・官の技術交流により、建設現場におけるオープンイノベーションを推進する。</li> <li>建設技術や建設産業の魅力を広く紹介し、担い手の確保に繋げる。</li> </ul>
開催日時	令和3年11月2日(火) 10:00～17:00
会場	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 大ホール・海
主催	静岡県交通基盤部 (事務局：静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課)

※県内の新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法等変更になる可能性があります。

### 出展募集技術

- 5分野14の技術テーマから出展技術を募集します。
- 技術テーマ及び現場ニーズの具体例は、P5～P7を参照してください。
- 県が課題解決の必要性・緊急性が特に高いと考えるニーズを「特定ニーズ」として赤字表記しています。
- 技術テーマに沿っていれば、現場ニーズの具体例に沿っていない技術でも応募可能です。
- 新技術に加え、建設現場におけるSDGsの取組事例も募集します。

分野1. ICTを活用した  
省力化・省人化

分野2. 設計・施工・  
維持管理の効率化

分野3. 工事現場の  
安全確保

分野4. 県産ものづくり  
技術の活用促進

分野5. 建設現場における  
SDGsの取り組み

### 応募要領

応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務局が提示した技術テーマに応じた技術等を保有する企業、団体又は個人とします。</li> <li>● 複数の構成員での応募も可能です。</li> </ul>
応募書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 別添の応募申請書に必要事項を記入の上、応募してください。</li> <li>● 応募申請書は、以下のURLからダウンロードできます。 <a href="http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-130/innovation.html">http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-130/innovation.html</a></li> </ul>
応募書類の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下のアドレスに電子メールで提出してください。 E-mail: <a href="mailto:gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp">gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp</a></li> </ul>
応募期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年7月20日(火)～8月31日(火) 17時まで</li> </ul>

※募集期間を延長しました！

# 新技術交流イベント in Shizuoka 2021

## 開催内容

ブース出展	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加企業等に保有技術についてブース出展していただきます。</li> <li>● 来場者に保有技術等のPRをしていただきます。</li> <li>● 現場導入等について情報交換をしていただきます。</li> </ul>
ショートプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 希望する企業等に、保有する技術のショートプレゼンを行っていただきます。</li> <li>● 概ね5～10分程度を予定しています。</li> <li>● なお、申し込み多数の場合、事務局にて調整させていただく場合があります。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別講演（静岡理工科大学 土木工学科設置準備室 中澤博志教授を予定）</li> <li>● 会場内に、企業、大学、官公庁等と学生等との交流が可能なスペース「静岡どぼくらぶ広場」を設け、建設産業の魅力を発信します。</li> <li>● 静岡県交通基盤部フォトコンテストの表彰式を同時開催します。</li> <li>● ショートプレゼンと講演は、YouTubeライブでも放映する予定です。</li> </ul>

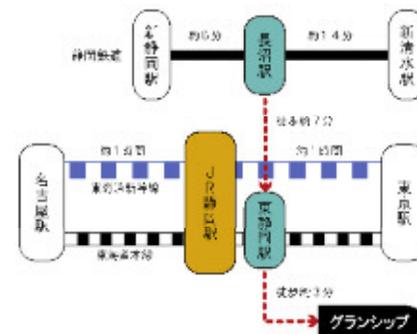
## 留意事項

出展の採否	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出展の採否は、応募締め切り後、8月末日までにお知らせします。</li> </ul>
出展費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者へお支払いいただく<b>出展費用はありません。</b></li> <li>● 会場までの交通費や、出展に要する経費等は、各自で御負担ください。</li> </ul>
展示ブース	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寸法は、幅3.0m×奥行2.5mを基本とします。出展技術数が複数の場合は別途考慮します。</li> <li>● 各ブースに、机（1.8m×0.45m）1台、椅子4脚、コンセント一口を配備します。</li> <li>● 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。</li> <li>● ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。</li> <li>● ブース配置は、技術テーマごとに事務局で決定します。</li> </ul>
権利関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出展者は、提案内容に係る知的財産権その他第三者の権利を侵害しないよう注意し、必要がある場合には、御自身の責任において適切に権利を利用するようにしてください。</li> </ul>
CPDS	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本イベントへの参加者へは、CPDS（2～3ユニット程度）の受講証明書を交付する予定です。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示ブース以外でのデモンストレーション等を希望される場合は、応募の際、その旨御記載ください。詳細は、事務局にて受付け後、個別に調整させていただきます。</li> <li>● 応募内容が、本展の趣旨にそぐわない等の事情により、申し込みを保留させていただきます場合があります。</li> <li>● やむを得ない事情により、主催者は予定の一部を変更する場合があります。</li> </ul>

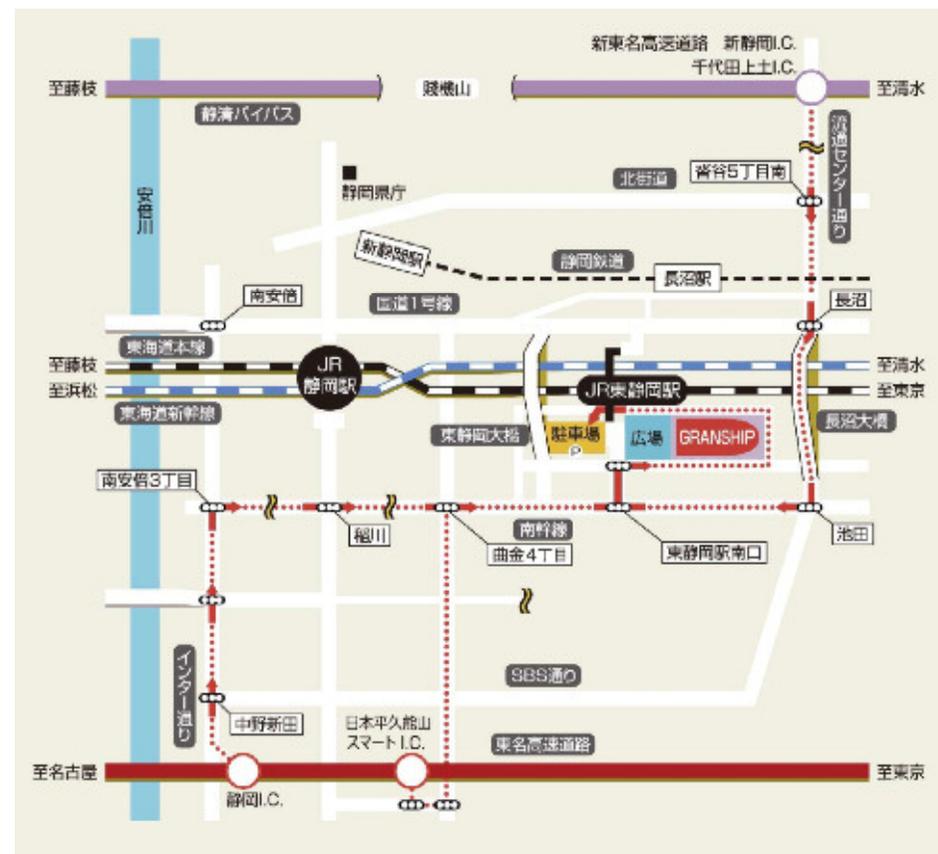
# 会場案内

## 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 大ホール・海

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号  
TEL：054-203-5710（代表）FAX：054-203-5716



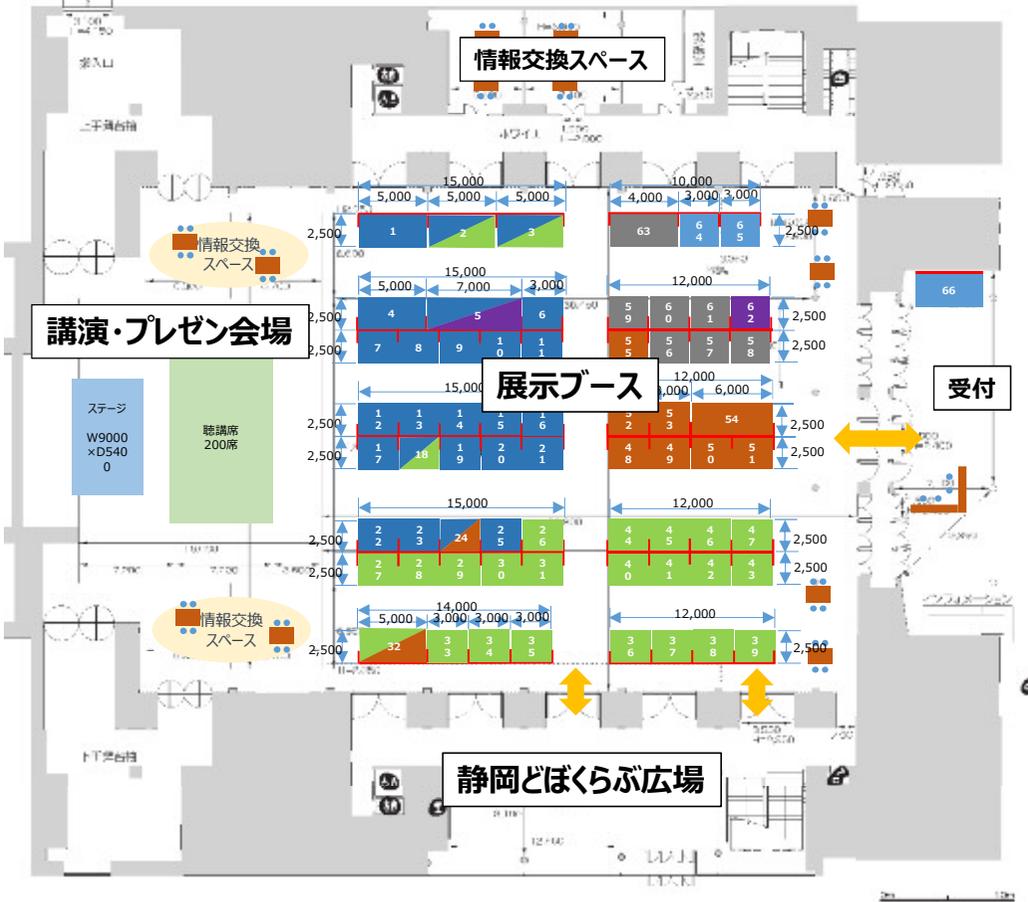
- JR東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分
- 静岡鉄道 長沼駅から徒歩約10分
- 東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間 JR静岡駅乗り換え、東静岡駅まで3分
- 車では 東名高速道路 静岡ICから6km、約20分  
日本平久能山スマートICから4km、約10分  
新東名高速道路 新静岡ICから9km、約15分  
静清バイパス 千代田上土ICから4km、約10分



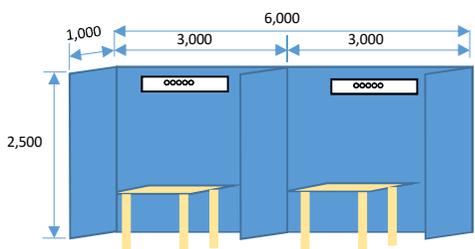
# 会場レイアウト イメージ

※ 現時点でのイメージであり、出展者数によりレイアウトは変更になります。

## グランシップ 大ホール・海



### 各ブースのイメージ



- ひとつのブースの寸法は、幅3.0m×奥行2.5mの大きさを基本とし、奥行1.0mの仕切壁が付きます。
- 各ブースに、机 (1.8m×0.45m) 1台、椅子4脚、コンセント一口を配備します。
- 出展企業、出展技術を案内するプレートを主催者が用意します。
- ポスターやパネルをブース壁面に展示できます。モニター等の機材の持込やのぼり旗等の設置も可能です。
- ブース配置は、技術テーマごとに事務局で決定します。

# No. 技術テーマ及び現場ニーズの具体例 1/3

## 分野 1. ICTを活用した省力化・省人化

### 技術テーマ 1. 調査・測量・設計業務の生産性向上を図るICT関連技術

- 1 無人ドローン等による効率的な河川測量技術
- 2 道路や橋梁の維持管理・点検の効率化・簡素化が可能となる技術
- 3 既知の座標点を現場に示すことができる測量機器・技術
- 4 水中地形を効率的に計測する技術
- 5 ボーリングで得られた地質情報を3次元化する技術

### 技術テーマ 2. 施設点検業務の効率化を図るICT関連技術

- 6 道路法面に散在する不安定岩塊を抽出する技術
- 7 ロボットによる建造物の点検技術

### 技術テーマ 3. 施工・維持管理の生産性向上を図るICT関連技術

- 8 作業員の負担を軽減するパワードスーツ
- 9 レーザーによる寸法測定により出来形管理を効率化する技術
- 10 配筋の検査・立会を効率化する技術

### 技術テーマ 4. 3次元点群データの有効活用により業務・工事の効率化を図る技術

- 11 管渠内の3次元点群データを取得する技術
- 12 3次元点群データの閲覧・計測を容易に行うことが可能な技術
- 13 高精度の点群データを生成できる測量技術
- 14 AR (拡張現実) を活用した丁張レス施工が可能な技術

## 分野 2. 設計・施工・維持管理の効率化

### 技術テーマ 5. 調査・設計業務の精度向上を図る技術

- 15 既設鉄筋位置を高精度で探査する技術

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 2/3
<b>技術テーマ6. 施工の生産性向上を図る技術</b>	
16	仮締切や仮栈橋のコスト縮減技術
17	既設鋼橋の塗膜を短時間で除去する技術
18	狭小現場でも低騒音・低振動で施工可能な地盤改良技術
19	コンクリート仕上げ作業を自動で行う技術
20	コンクリート打継目処理の効率化が可能な技術
21	狭所でも設置可能な簡易組立足場
<b>技術テーマ7. 維持管理の効率化を図る技術</b>	
<b>22</b>	<b>河川や道路の効率的かつ経済的な除草・防草技術</b>
23	路面補修を簡便に短時間で行うことが可能な技術
24	ボーリング水抜き孔の孔内洗浄を少量の水で実施できる技術
25	経済性や施工性に優れたコンクリート構造物のはく落防止技術
26	既設擁壁の簡易な補強技術
<b>技術テーマ8. 施設点検業務の効率化を図る技術</b>	
27	道路付属施設の劣化状態の評価を非破壊で行うことが可能な技術
28	管渠の老朽化調査・漏水調査を簡易に行うことが可能な技術
<b>分野3. 工事現場の安全確保</b>	
<b>技術テーマ9. 交通誘導に関する新技術</b>	
<b>29</b>	<b>ICTの活用により交通誘導業務を支援する技術</b>
30	交通規制中の追突事故を減らす技術
<b>技術テーマ10. 公衆災害を防止する技術</b>	
31	地下埋設物や地下空洞の探査を簡易で高精度に行う技術
32	除草時に飛び石が飛ばない除草機械に関する技術

No.	技術テーマ及び現場ニーズの具体例 3/3
33	ダンプトラックの積載重量を容易に計測可能な技術
<b>技術テーマ11. 労働災害を防止する技術</b>	
<b>34</b>	<b>重機が人や物を感知して警告・自動停止する技術</b>
<b>技術テーマ12. 建設現場で活用可能な新型コロナウイルス対策</b>	
<b>分野4. 県産ものづくり技術の活用促進</b>	
<b>技術テーマ13. 静岡県産の新技術</b>	
<b>分野5. 建設現場におけるSDGsの取り組み</b>	
<b>技術テーマ14. 建設現場におけるSDGsの取組事例</b>	
35	誰もが働きやすい職場環境づくりの取組

※ **赤字**は、県が課題解決の必要性・緊急性が特に高いと考える**特定ニーズ**